

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日鋼記念看護学校
設置者名	社会医療法人 母恋

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科 (3年課程)	夜・通信	27 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/実務経験のある教員等による授業科目一覧>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	日鋼記念看護学校
設置者名	社会医療法人 母恋

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営会議
役割	運営会議は、日鋼記念看護学校会議規程の第3条に定められた会議であり、教育課程に関する事、学則その他の重要規程の制度改廃および学生の入学、卒業、単位に認定等に関する事など重要事項について審議し結論を導くなど学校運営に決定機関の役割を果たしている。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
社会医療法人 理事長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	医師
日鋼記念病院 院長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	医師
日鋼記念病院 副院長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	医師
日鋼記念病院 副院長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	医師
日鋼記念病院 副院長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	歯科医師
日鋼記念病院 副院長 看護部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	看護師
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日鋼記念看護学校
設置者名	社会医療法人 母恋

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、それらに示された教育内容や単位数、授業形態に基づき教育カリキュラムを構築した。その中で教育理念・教育目的をふまえ、担当教員が各授業科目の目標達成をめざし他の授業科目との関連もふまえ組織的、計画的、意図的に学習内容を検討し、教務主任の指導を受けたうえ、教務会議にて決定する。授業の進め方は、授業計画に従い講義、演習、実習が計画的に行われる。</p> <p>成績基準は、各科目の授業計画に示された基準による。</p> <p>授業計画については、授業開始時に担当教員または講師より学生に詳細に説明する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/授業計画(シラバス)2023
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目の履修、成績評価、単位の認定、卒業の認定については、日鋼記念看護学校履修規程にて定められており、学生に配布する学生便覧にて内容を示しております。</p> <p>1. <u>成績評価を受ける資格</u>(履修規程2条より抜粋) 成績評価は、当該授業時間数の3分の2以上出席している授業科目に限り評価を受けることができる。ただし、3分の1を超えて欠席したもので、その欠席理由がやむを得ないもので、当該科目担当講師が成業の見込みがあると認め、かつ、学校長の承認を得た場合は成績評価を受けることができる。授業時間数の3分の1を超えて欠席したものが成績評価を受ける資格を認められた場合は、欠席した授業内容の補習等を受ける必要がある。</p> <p>2. <u>成績評価</u>(履修規程3条より抜粋) 成績評価は授業科目ごとに筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技等によって行なう。</p> <p>3. 成績評価はA、B、Cを合格、Dを不合格とする。評価の基準は、以下のとおりとする。 A：100～80点、 B：79～70点、 C：69～60点、 D：59点以下</p> <p>4. 臨地実習における評価は、別に定める実習評価方法、評価基準により合否を決定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、履修科目全科目の合計点を平均し、100点満点にて算出する。 成績下位 1/4 の学生数は、学年学生数×1/4 にて算定(小数点未満切捨) 成績下位 1/4 に該当する指標の得点を示す。 また、成績の分布についても示すものとする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/ <u>成績評価の客観的な指標</u></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、履修規程の第 10 条に次のように定められている。 学則の定めるところにより、卒業の認定を受けることができるのは次の各号の条件が満たされている者である。 出席すべき日数の3分の2以上出席している者で、学則に示す授業科目を全て合格し単位を修得した者について、運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.bokoi.jp/archives/002/201907/4.卒業認定の基準.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日鋼記念看護学校
設置者名	社会医療法人 母恋

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/貸借対照表
収支計算書又は損益計算書	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/損益計算書
財産目録	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/財産目録
事業報告書	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/事業報告書
監事による監査報告（書）	https://www.bokoi.jp/archives/002/202306/監事による監査報告

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		専門課程	看護学科（3年課程）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	1年生、2年生 単位時間 2,970 時間 /110 単位	1、2年生 単位時間 1,500 時間 /65 単位	1、2年生 単位時間 525 時間 /21 単位	1、2年生 単位時間 945 時間 /24 単位		
		3年生 単位時間 3,030 時間 /104 単位	3年生 単位時間 1,440 時間 /60 単位	3年生 単位時間 555 時間 /21 単位	3年生 単位時間 1,035 時間 /23 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1年生 2年生 単位時間 2,970 時間/110 単位 3年生 単位時間 3,030 時間/104 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人		190人	0人	11人	113人	124人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>1年生は新カリキュラム、2年生、3年生は旧新カリキュラムで行われている。授業計画の作成は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、それらに示された教育内容や単位数、授業形態に基づき教育カリキュラムを構築した。その中で教育理念・教育目的をふまえ、担当教員が各授業科目の目標達成をめざし他の授業科目との関連もふまえ組織的、計画的、意図的に学習内容を検討し、教務主任の指導を受けたうえ、教務会議にて決定する。授業の進め方は、授業計画に従い講義、計画的に行われる。</p>

成績基準は、各科目の授業計画に示された基準による。 授業計画については、授業開始時に担当教員または講師より学生に詳細に説明する。
成績評価の基準・方法 (概要) 成績評価については、履修科目全科目の合計点を平均し、100点満点にて算出する。 成績下位 1/4 の学生数は、学年学生数×1/4 にて算定(小数点未満切捨) 成績下位 1/4 に該当する指標の得点を示す。 また、成績の分布についても示すものとする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業の認定については、履修規程の第 10 条に次のように定められている。 学則の定めるところにより、卒業の認定を受けることができるのは次の各号の条件が満たされている者である。 出席すべき日数の3分の2以上出席している者で、学則に示す授業科目を全て合格し単位を修得した者について、運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。
学修支援等 (概要) 日鋼記念看護学校として独自の支援制度はないが、社会医療法人 母恋 修学助成金制度があります。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
66 人 (100%)	4 人 (6.1%)	60 人 (90.9%)	2 人 (3.0%)
(主な就職、業界等) 日鋼記念病院 天使病院 製鐵記念室蘭病院 三愛病院			
(就職指導内容) 3 年次教員による学生への個別面談、学校長（看護職）との個別面接に加え、採用試験に向けた模擬面接を実施している。また、助産師学校や保健師学校の進学をめざす学生に対しては、学年担当教員や教務主任が個別面談を実施している。さらに進学経験のある卒業生達が来校し、実際に進学先での学習内容や学校生活についての話が聞けるように調整し、進学先選択の参考となるような対応をしている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格、保健師学校受験資格、助産師学校受験資格 4 年生大学編入試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
197 人	2 人	1.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) <p>入学オリエンテーション後に新入生と教員が個別面談を行い学生個々の生活環境、経済状況の把握に努め、その後、日々のホームルームの状況を観察しコミュニケーションを図りながら継続的に学生の状況を確認している。また、各学年で定期的な個別面談を実施し、学生の行動の変化を的確に把握するよう努めている。さらに、気がかりな言動があった場合、早急に対策が講じられるよう教員間で情報共有している。加えて、必要時はスクールカウンセラーによるサポートが受けられるよう調整し不応状況防止への支援を行っている。</p> <p>本人からの学習上、健康上、生活上などの相談があった場合に随時学年担当教員が対応することとしている。また、進路の迷いなどについては、学年担当教員、教務主任が面談し時間をかけて対応している。また学生本人の同意を得た後、保護者と連絡を取り合い、状況によっては保護者も交えて話し合い解決の方法を見出している。さらに、専門知識習得に対する学習困難が見受けられる場合、個別指導を行っている。経済面の支援では、各種奨学金等の紹介を行っている。加えて、休学者についても、定期的に教員が連絡をとり生活状況を把握している。看護職という専門性が高く人の命をあずかる職業ゆえに、場合によって修業年限で履修が修了できない学生もいるが、時間をかけて指導することで伸びる学生も少なくなく、退学者ゼロを目標とし教職員一丸となって取り組んでおります。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費 (年間)	実習教材費 (年間)	合計
看護学科	100,000 円	480,000 円	48,000 円	48,000 円	676,000 円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
修学支援 (任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.bokoi.jp/archives/002/202307/6.自己点検自己評価		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当校の看護教育の質向上を図るため、学校関係者評価委員会にて学校職員以外の委員から得られた意見ならびに提案などの内容について検討したうえで、実行可能なものから次年度の事業計画に反映することとする。 実施方法については、当校の学校関係者評価委員会規程に従い、学校長が臨地実習施設関係者、地元業界関係者、教育に関する有識者、本校卒業生代表、保護者代表から4名以上を学校関係者評価委員会の委員として委嘱し、委員会を年度内に1回行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会医療法人 母恋 日鋼記念病院 副院長 看護部長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	臨地実習施設開設者
社会福祉法人 母恋 地域介護相談センターいきがい所長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	地元企業関係者
国立大学 室蘭工業大学 准教授	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	教育に関する有識者
(元看護学校教員)	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	教育に関する有識者
(元看護学校教員)	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	教育に関する有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.bokoi.jp/archives/002/202303/学校関係者委員会報告書		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.bokoi.jp/school
--